

文教厚生委員会会議録

- 1 期 日 令和元年12月6日(金)
- 2 会 場 第1委員会室
- 3 開会時刻 午前 9時57分
(休憩: 11時08分~11時17分)
- 4 閉会時刻 午前 11時45分
- 5 出席者 委員長 窪野愛子 副委員長 寺田幸弘
委員 草賀章吉 委員 松本均
" 勝川志保子 " 富田まゆみ
" 藤原正光
- 当局側出席者 健康福祉部長、こども希望部長、教育部長、
健康福祉部付参与、所管課長
- 事務局出席者 議事調査係 望月教代
- 6 審査事項
- ・議案第94号 令和元年度掛川市一般会計補正予算(第3号)について
第1条 歳入歳出予算の補正
歳入中 所管部分
歳出中 第3款 民生費
第4款 衛生費(第1項)
第10款 教育費(第6項1目・2目を除く)
 - ・議案第95号 令和元年度掛川市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)
について
 - ・議案第96号 令和元年度掛川市後期高齢者医療保険特別会計補正予算(第
2号)について
 - ・議案第97号 令和元年度掛川市介護保険特別会計補正予算(第3号)について
- 7 協議事項 ・閉会中継続調査申し出事項について 4項目
- 8 会議の概要 別紙のとおり

以上のとおり、報告いたします。

令和元年12月6日

市議会議長 大石 勇 様

文教厚生委員長 窪野愛子

8 会議の概要

令和元年12月 6日（金）午前 9時57分から、第 1委員会室において全委員出席のもと開催。

- 1) 委員長あいさつ
- 2) 付託案件審査

①議案第 9 4 号 令和元年度掛川市一般会計補正予算（第 3 号）について

第 1 条	歳入歳出予算の補正
歳入中	所管部分
歳出中	第 3 款 民生費
	第 4 款 衛生費（第 1 項）
	第 10 款 教育費（第 6 項 1 目・2 目を除く）

人件費について（一括説明）

〔健康福祉部長、説明 9:59～10:02〕

〔質疑 なし〕

○窪野愛子委員長
担当課の説明が終わった。質疑をお願いします。

○窪野愛子委員長
質疑を終了する。

第 4 款 衛生費
〔健康医療課、説明 10:03～10:04〕
〔質疑 なし〕

○窪野愛子委員長
担当課の説明が終わった。質疑をお願いします。

○窪野愛子委員長
質疑を終了する。

第 3 款 民生費
〔福祉課、説明 10:05～10:10〕
〔質疑 10:10～10:30〕

○窪野愛子委員長
担当課の説明が終わった。質疑をお願いします。

○草賀章吉委員
説明資料3、専任手話通訳者の確保ができなかったとのこと。派遣予定していたイベント等、どのくらい削ることになったのか。

●原田福祉課長

イベントというよりは窓口対応職員というような形で、ろうあ部や通訳団との話し合いの中で、1名確保できればということ。平成29年度から非常勤の専門の手話通訳者がいないため、それを補充する意味で、予算要求をした。いわゆるハローワークだけではなく、全日本ろうあ連盟発行の日本聴力障害新聞ですとか、静岡県聴覚障害者協会発行の聴障しずおか等にも依頼をかけているが、なかなか非常勤職員で専門職員の方が雇用できていないということで、昨年もそうだが、この時期で半年程度経過になったので減額で予算減をさせていただいた。

○草賀章吉委員

窓口へ常時来てもらっているのか。

●原田福祉課長

ろうあ部や手話通訳団等から、専門の資格を有した方がいた方が相談がしやすいのでぜひ確保して欲しいという要望が毎年あがっている。掛川市としても非常勤職員として雇用ができればということで毎年予算要求としている状況である。

○草賀章吉委員

議会で手話通訳者を配置し中継を行っている。人数も大勢いる。議会での手話通訳を無くせば、専任通訳者を置くことができるのか。

●原田福祉課長

就労内容や雇用形態等にもよるかと思うが、市の非常勤職員としての雇用となると、なかなか応募者がいない。

議会でやっている方は、いろいろな業務を続けながらプロとしてやっている。その辺の違いがある。

常勤というところまでは、ニーズとしては考えられないところもあり、非常勤で予算要求をあげている。しかし、応募がない。

○草賀章吉委員

条件面でだめだとか、ろうあ者の方々が窓口に来たときに意思疎通ができないので是非ということであれば、是非優先してやってあげるべき。手話通訳できる方が少ない。良い方法はないか。

●原田福祉課長

窓口には、遠隔手話通訳システムが入っている。それに問い掛けすれば、会話ができるようなシステム。専門の資格はないが、窓口で簡単な対話ができる職員は今在籍している。

ろうあ部の方々からは、専門職の配置をという要望が上がってくるので、非常勤職員としての雇用でどなたかあればということでのいろいろな専門雑誌の方にも募集をかけたたりしている状況である。

○勝川志保子委員

関連で。条件が他市とくらべてどうなのか。専門職として妥当なのか。

●荒木障がい者福祉係長

登録している登録手話通訳者13名は他にも仕事を持っている。派遣依頼があったときは、仕事の都合をつけてイベントや病院等に出向き、手話通訳を行っている。

静岡県内のどこの市町においても、正規の専任手話通訳者を配置しているところはない。どこの市町も非常勤職員として対応している。どこの市町も長く続けている方をなんとか雇用継続していただいている形で、新たに雇用しようとするとなかなか難しい状況が続いている。

手話は、見た目以上に頭も使うし肩の筋肉も使うため、15分以上継続して手話をする事ができない。15分やったら30分程度休憩しなければいけないため、なかなか見た目以上に大変な仕事である。

そういったこともあり、やはり非常勤職員の賃金と補償、例えば、肩を痛めてしまった場合に補償があるのか、そういった補償面もあり、非常勤職員では応募がない状況である。正規になれば賃金面も上がるし、仮に怪我をした場合にも補償があるので、関係団体からは正規職員での採用を求められている状況にある。

○藤原正光委員

話を聞くと見た目よりかなり大変で、雇用形態が2年連続でも同じような状況というのは、何かこのままやってもまた同じではないかと感じる。雇用形態の改善が必要と思うが、どのように考えているのか。

●原田福祉課長

正規職員で専門でずっと福祉課での職務内容が健全な環境なのか。いろいろ課題はある。非常勤職員で募集はしていることを人づてに周知し、何とか継続していただける方を地道に探してくるしか今のところ手立てがない状況である。

○松本均委員

水を差すようで申し訳ないが、担当課で手話の講習ないし資格を取っていただいて、その中でやっていただく方がよいと思う。

募集しても、もうずっとわかっていること。担当で手話ができる方もいるので、手当を付ける等、別の方法を考えていくべき。

資格をとった方に、手当または補助をつけてやっていった方がいいのでは。

●原田福祉課長

団体からの要望があった際にも、職員の研修等で育成も検討していただきたいと委員おっしゃる通りの要望もあった。

今年も職員向けにも、まず初歩のところからの研修にはなるが、進めていくのと、職員採用の中で、有資格者が採用されることも願っているという状況である。

○富田まゆみ委員

1人1名分で120万円を減額とのこと。単価設定について次年度のことを考えたとき、専門職扱いで予算要求はできないのか。

●原田福祉課長

非常勤職員の対応枠の中では、いわゆる有資格者としている。それでもちょっと安い状況かなというところ。

○勝川志保子委員

説明資料6 プレミアム付商品券事業費について、現在の実績は。

●原田福祉課長

新聞で非課税の方々の申請率が低いとの報道がある。11月22日現在で、非課税世帯42.34%。県内平均が33.81%。今のところ申請率は、県下で一番高い状況。

7月 1日から案内をし、10月に再度勧奨通知を全対象者に出したことで、申請率が約 7%アップした。近隣と比較しても高い。

申請が終わり買い物券を購入された方々が、子育て世帯それぞれ 6割程度の方が買い物券の購入をしていただいている。その方々が購入した結果の集計は、これからになる。

窓口にお金を用意しながら申請しないといけないのと、結果的に5,000円だけ、5,000円の高い安いは、人それぞれあると思うが、5,000円のためにそこまでという億劫さが出ている方々が比較的にいるのかなというのは窓口や電話等での対応で感じるところである。

○寺田幸弘副委員長

今の件は、補正予算とは関係ないので、関連した質疑をお願いしたい。

○藤原正光委員

プレミアム付商品券事業費について、増やしたことによる増額か。

●原田福祉課長

商工会議所に委任することを当初考えていたが、できるだけ受け入れ窓口が多い方がいいとのことで、本庁では 3階の専用窓口、両支所、掛川商工会議所、みなみ商工会の 5箇所窓口対応することになった。購買の時期も11月末までとなった。その関係で、市役所事務として、発行事務だけではなくて、販売窓口対応もあり、1人増で予算要求した。

○藤原正光委員

窓口を増やしたのは掛川市だけではなく、他市町も増やしているのか。

●原田福祉課長

全市町について把握していないが、市役所で購買しているところばかりではない。受け入れ先が、商工会や金融機関等、委託先がそれぞれ異なっている。

掛川市の窓口 5箇所は比較的多い方である。

○藤原正光委員

掛川市は、商工会プラス市役所、支所窓口を増やしたので、人件費が必要になったということではよろしいか。

●原田福祉課長

今回の人件費については、市役所で非課税者の選出と引換券の交付事務のみの予算を予定していたが、購買の窓口対応も増えたことで、本庁 1人分の人件費を増額している。

○窪野愛子委員長

質疑を終了する。

第3款 民生費

〔長寿推進課、説明 10:31～10:34〕

〔質疑 10:34～10:37〕

○窪野愛子委員長

担当課の説明が終わった。質疑をお願いする。

○松本均委員

説明資料13 ききょう荘の施設改善事業費23万1,000円は、修理費用か。

●山田長寿推進課長

購入である。

○松本均委員

今まで、非常用自家発電機はなかったのか。

●松永長寿推進課主幹

1台あったが、施設から追加購入の希望があり、国へ補助申請したところ申請が通ったので、もう 1台購入する。

1階に冷蔵庫 2階に厨房という形になっているので、1台だと停電の際、食中毒等の心配があったので、もう 1台追加で購入した。

○松本均委員

視察に行った際、だいぶ老朽化を感じた。説明で災害時に非常に大変だということ。いまの説明で理解した。

○勝川志保子委員

関連して、他の施設からの要望はないのか。申請はしているが、予算がとれないものはあるのか。

●山田長寿推進課長

小笠老人ホームも同様に整備した。こちらは、組合議会の予算で整備した。

○窪野愛子委員長

質疑を終了する。

第3款 民生費

〔国保年金課、説明 10:37～10:39〕

〔質疑 10:39～10:42〕

○窪野愛子委員長
担当課の説明が終わった。質疑をお願いする。

○草賀章吉委員
事項別明細書17ページ歳入、広域連合精算返還金が約6,000万円と非常に大きい。なぜか。

●佐野国保年金課長
事項別明細書17ページ上の段 広域連合事務費負担金精算返還金 1,229万円については、昨年度、広域連合で電算システムの入替えがあり、その関係で入札差金が発生したということ
で、各市町に返還金が大きく出た。

2段目の広域連合医療給付費負担金清算返還金4,931万5,000円については、医療給付費について、当初の見込みよりも伸びが抑えられたということで、各市町の返還金が昨年度はだいぶ大きい金額になっている。

○草賀章吉委員
あまり予算を少なく見積もると、もっと出せとなるので、医療費水準等はそのように見込んでいるのか。

●佐野国保年金課長
医療給付費の見込みについては、うちの国保も同じことで非常に難しい面がある。
広域連合については、来年度の当初予算のときに話が出ると思うが、2年に一度保険料の見直しもある。多く見込めば保険料も上がるということで、その見極めをある程度広域連合の方でやっていただいているが、やはり高額医療がどれだけ伸びるか等難しい部分があるので、昨年度は伸びがある程度抑えられたとこちらとしては理解している状況である。

○草賀章吉委員
予算を立てるときの見込み。今まではそれぞれ市町が見込み額を算出していたが、今は広域連合が全ての市町の見込みを立てているのか。

●佐野国保年金課長
広域連合で見込んでいる。
掛川市分にこれだけ予算をとりなさいという指示が来て、予算を組んでいる状況。
国保は単独でやっているが、後期高齢者医療は全て広域連合で予算を組んでいる。

○窪野愛子委員長
質疑を終了する。

第3款 民生費
〔こども希望課、説明 10:44~10:48〕
〔質疑 10:48~10:51〕

○窪野愛子委員長
担当課の説明が終わった。質疑をお願いする。

○松本均委員
説明資料20、乳幼児健康支援費について、病児保育事業の利用者増に伴い補助金を増額補正とのことだが、どういう状況なのか。

●沢崎こども希望課長
病児保育事業については、本年5月から開始している。
当初、年間延べ人数を220人と見込んでいた。9月までの実績と今後の見込みで675人の利用を予定しており、かなり増えている関係で、最高の基準額となった。

○松本均委員
約3倍も増えている。来年は、少し多めに見込んで。

● 沢崎こども希望課長

当初予算については、今要求しているところ。今の実績を踏まえ要求をしている。

○ 勝川志保子委員

説明資料19、延長保育促進支援費の増額については、幼稚園の延長も大きく影響しているのか。

● 沢崎こども希望課長

これは、保育園の延長保育の補助金になる。

○ 窪野愛子委員長

質疑を終了する。

第3款 民生費

〔こども政策課、説明 10:52～10:58〕

〔質疑 10:58～11:07〕

○ 窪野愛子委員長

担当課の説明が終わった。質疑をお願いする。

○ 藤原正光委員

説明資料の23、子ども・子育て支援事業費について、保育市等就職応援資金の申請数を、20人から40人に増やすとのことだが、もともと何件の申請を見込んでいたのか説明をいただきたい。

● 高鳥こども政策課長

新規事業であるため、当初予算は、枠取りで計上した。

11月25日現在で申請が22件あった。補正に当たっては、制度の利用状況を把握するため、市内の園にアンケート調査を実施。その結果、4月1日現在で10数人が採用され、4月2日以降8月31日までに14人、下半期9月1日から年度末までに20人、全体では、年間通じて、おおむね51人程度の採用が見込まれたので、その8割程度の40人分を対象者として見込んだ。

○ 藤原正光委員

債務負担行為の補正について。昨日の一般質問の答弁で1者ヒアリングを行ったとのこと。その説明をお願いする。

● 高鳥こども政策課長

今回の債務負担行為の設定については、特に具体的なヒアリングは実施していない。昨日の答弁では、公私連携型保育所の整備に当たり、すずかけっこ保育園の事例を参考にしたことを述べた。

○ 藤原正光委員

いろいろなやり方を研究していないようなイメージに聞こえた。ありきでいったというのかなど。仮に、例えば1億円ぐらいをかけるようなことを言っていたが、それでも次に建て直すという、国からも支援いただいて5,000万円ぐらいでというようなことを昨日の答弁で言っていたが、それでも3億8,000万円に比べたら安いものなので、1年だけやるというような選択肢は、なかなか難しいのか。

● 高鳥こども政策課長

本年度は、5年に1度の子ども子育て支援事業計画を策定する年度であるため、年度当初から待機児童が発生しないよう保育ニーズの推計を慎重に行ってきた。来年度の待機児童対策も喫緊の課題であるが、事業計画は、令和2年度から6年度までの5年間のスパンで策定するので、期間内に待機児童が出ないよう計画的な施設整備を目指した。

来年度に待機児童が出ると、進級等により、令和3年度や4年度も待機児童が発生することになるので、債務負担行為を組み、何園かを整備していきたい。

コスト面については、決して考慮しなかったわけではない。昨日の一般質問でも、開園時期を1年間遅らせる案や木造やプレハブ工法による仮設園の案など、様々な御提案をしていただいたが、今回の整備は、令和3年度における待機児童ゼロを達成するための緊急措置であるため、財政的な観点や公共施設マネジメントの観点と、待機児童ゼロという政策課題を比較考慮して、この結論に至った。

コスト的には、多少割高になる可能性はあるが、今回は、工期内の完成を何よりも優先して考えた。また、令和3年度の待機児童ゼロを強く発信していくことにより、子育て世代に安心感を持っていただくという効果もあるため、今回の提案をさせていただいた。

○藤原正光委員

財政的な面を考慮するという選択肢はなかったのか。

●山崎こども希望部長

財政的な面を考慮しなかったというわけではない。今申し上げたように、財政的なこと、待機児童の発生、公共施設マネジメント。それを天秤にかけた時に、何を優先していけばよいのか。とにかく掛川市として、国定義の待機児童ではなく、入所保留者を無くしていこうということで、これをまず優先しようということで、今回リースとした。

○勝川志保子委員

待機児童対策に何年かの見通しを持っての予算なのか疑問に感じた。

債務負担行為を先を見越して、本当に待機児童がない状態を考えてやっているのか。5年度を考えての負担行為なのか。

●高鳥こども政策課長

今回の計画は、子ども・子育て支援事業計画の推計にリンクしている。5年後を見据えての計画と捉えていただいて構わない。

○窪野愛子委員長

質疑を終了する。

[休憩 11:08~11:17]

第10款 教育費

[社会教育課 説明 11:15~11:17]

[質疑 11:17~11:20]

○窪野愛子委員長

担当課の説明が終わった。質疑をお願いします。

○藤原正光委員

説明資料29、無形民俗文化財記録調査費について、本調査の前倒しでなく、前段の調査か。

大学の先生が年度末忙しく、前から調査を始めると聞いている。その繰り上がりの調査のことか。

●戸塚社会教育課長

そのとおりである。

来年度から各先生に実際に当初の予算計上の中でも補助金をいただいてやるような形になっているので、先生のいわゆる具体的な動きで、割り振りもすぐにはしなくてはいけない。

ご承知の通り、お祭りがもう4月3日にあるので、年度内に、しっかりとした準備をしたいということで、準備調整委員会を4回ほど開催したいと考えている。

○藤原正光委員

国の補助金は確定か。前倒しにならないのか。

●戸塚社会教育課長

前倒しにはならない。

今まさに来年度の予算分も含め、県を通して補助金の調整をしているところである。

○窪野愛子委員長

説明資料28 埋蔵文化財センター維持費について、台風19号で被害を受けた所が多目的広場との説明だったが、現在どのような活用をしているのか伺う。

●戸塚社会教育課長

地区の方に借りていただき、開放しているが、幸い外に被害が及ばなかった。しかし、そのままにしておく危険なので、取り除くことになった。

○富田まゆみ委員

関連で。地区の方に使っていただいているとのことだが、どのくらいの頻度で使用されているのか。

●鬼澤社会教育課主幹

今年度においては、地区の方の正式な利用はない。申し込みがない中で、キャッチボールやボール遊びをしているところが見受けられる。

○窪野愛子委員長

質疑を終了する。

[討 議]

○勝川志保子委員

認可保育園に関する債務負担行為について、いろいろ意見がでていますが、今まで市が企業主導型や小規模保育等、できるだけお金をかけない形で何とか時間外保育、延長保育、預かり保育の充実であるとか、そういったことで何とかしようとしてきたところを、きちんと認可保育園を市の責任で、整備していこうということを、きちんと市民に対して出しているところは、評価できていると思う。

昨年、一昨年と、委員会でことあるごとに、待機児童が増え、本当にどうかなっちゃうんじゃないかと、ずっと発言して、それに対する資料説明が、何とかなると。でも蓋を開けるとやっぱりなんともならないということが、去年も今年も、年度当初のところでも年度途中になればもっと繰り返されてきてるわけである。

だから甘い見込みではなく、本当に数字としてどうなのかっていうところに沿って、この債務負担行為、少し先まで見通した形の補正の提案だと思う。そういうことがされることは、私は評価していいのかなと思う。

昨日の一般質問の中で、やはりお金がかかる。本当にそれは感じている。施設整備にきちんと国が責任持ってもらい、教育や保育のところに国庫支出金がきちんと出る補助率があるものについてはきちんと補助していただくというのは、本当に大事なこと。小さな自治体が圧迫されるので。

今回は、それが間に合わないのであればっていうふうに、ちょっと感じるところで、やっぱりきちんと使えるように、そういったものが使えるように見通し持って、保育園の整備であるとか、もうこれから始まってくる学校とかそういうのもね同じだと思うが、きちんと補助が受けられる形での建設ができるように、後手に回らないように、文教厚生委員会としてはしっかり言っていく必要があるのかなというふうに今回は感じている。

○草賀章吉委員

今までと状況が変わったのは、幼児教育の無償化だと思う。この制度ができて、相当今までの流れと変わってきて、読みも大変しにくくなったし、今までは幼稚園に入所させようと思ってた人まで、無償なら保育園に預けて、私も少し稼ごうかということになったりするので、担当課も恐らく読みが大変難しくなったと思う。そういう状況の中なので、やはり少し先を見て作っていたと。今まではどちらかというと、後追いのやり方で、市の財政を思えば、なかなか文部先行とはいかないが。

やはり幼児教育無償化が出てきたので、やはりそれはやっていかないと掛川市だけ遅れてしまうことに多分なるのだろうと思うので、昨日いろんな話があり、コストの話もあるが、部長も英断をされて、何度も言ってるように、やはり待機児童を何としてもなくしていきたい。私達が言うと政治的な意思だと思って、やはり、それが一つの方針。これは是としてへいくべきだろうなと私は思う。

○藤原正光委員

今草賀委員が言ったように無償化が始まって、そもそも待機児童がいる中でも紹介しちゃうと、先に受け皿がもっとちゃんとしてからそういうことをやらないと大変なことになるよっていうようなことを言われている中で、掛川が計画的に待機児童対策というのをやっていく思いもわかるし、それはすごくいいことだと思う。この間のエアコンもそうだが、今先のことを考えて、これからパソコンも1人1台という話になってくると、かなり国のメニューも計画的に考えていかないと、なかなか全て市単でやっていくっていうのは厳しいと思う。

〔討 論〕

○勝川志保子委員

保育の債務負担行為の補正に関しては何とか市の待機児童ゼロに向けてのきちんとした姿勢を示しているのので、今回は、後押ししたい、賛成したいと考えている。

後の部分は、決算による返還金の部分になるので、この文教厚生委員会に付託された部分に関しては、そこをとにかく力説して、ここは大事だと思うということを言いたい。

〔採 決〕

議案第94号 令和元年度掛川市一般会計補正予算（第3号）について
全会一致にて原案とおり可決

②議案第95号 令和元年度掛川市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）について

〔国保年金課、説明 11:29～11:30〕

〔質疑 なし〕

○窪野愛子委員長

担当課の説明が終わった。質疑をお願いします。

○窪野愛子委員長

質疑を終了する。

〔討 議 なし〕

〔討 論 なし〕

〔採 決〕

議案第95号 令和元年度掛川市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）について
全会一致にて原案とおり可決

③議案第96号 令和元年度掛川市後期高齢者医療保険特別会計補正予算（第2号）について

〔国保年金課、説明 11:32～11:33〕

〔質疑 なし〕

○窪野愛子委員長
担当課の説明が終わった。質疑をお願いする。

○窪野愛子委員長
質疑を終了する。

[討 議 なし]

[討 論 なし]

[採 決]

議案第96号 令和元年度掛川市後期高齢者医療保険特別会計補正予算（第2号）について
全会一致にて原案とおり可決

④議案第97号 令和元年度掛川市介護保険特別会計補正予算（第3号）について

[長寿推進課、説明 11:34～11:37]
[質疑 11:37～11:39]

○窪野愛子委員長
担当課の説明が終わった。質疑をお願いする。

○勝川志保子委員
事項別明細書128ページ、介護認定調査費の減額は、人件費とのことだが、認定調査がいらなかったのか。

●山田長寿推進課長
職員1名の給与と非常勤職員13名の賃金の補正である。

○勝川志保子委員
人件費が減額になるということは、職員数がいらなくなったのか。

●山田長寿推進課長
職員数は変更なし。人事異動の関係で増減があった。

○窪野愛子委員長
質疑を終了する。

[討 議 なし]

[討 論 なし]

[採 決]

議案第97号 令和元年度掛川市介護保険特別会計補正予算（第3号）について
全会一致にて原案とおり可決

3) 協議事項

閉会中継続調査申し出事項 4項目

閉会中継続調査申し出事項 4項目で了承

4) その他 なし

○寺田幸弘副委員長
以上で委員会を終了する。

5) 閉会 午前11時45分